



2020年6月29日
国立大学法人東京大学
積水ハウス株式会社

東京大学 × 積水ハウス

「国際建築教育拠点 (SEKISUI HOUSE - KUMA LAB)」総括寄付講座を設立
デジタルテクノロジーの活用・グローバルなプラットフォームで「未来の住まいのあり方」を研究

国立大学法人東京大学と、積水ハウス株式会社は「国際建築教育拠点 (SEKISUI HOUSE - KUMA LAB)」総括寄付講座を東京大学総長室総括プロジェクト機構^(注1)内に設置し、2020年6月1日から5年間の活動を開始致しました。

建築学における最先端のデジタルテクノロジーの活用研究と国際的な人材育成を目指す東京大学と、「わが家」を世界一幸せな場所にする、というグローバルビジョンを掲げる積水ハウスは、「未来の住まいのあり方」をテーマとした研究の場を創ることに合意し、隈研吾・東京大学特別教授を中心とした本総括寄付講座の設立に至りました。

国際デザインスタジオ、デジタルファブ리케이션センター、デジタルアーカイブセンターの3つの拠点の活動を展開することによって、コンピューショナル・デザインやポストデジタル、アーバンデザイン、建築史学などの建築学の各領域における国際的な研究・教育拠点の確立を目指しながら、「未来の住まいのあり方」を探究します。

(注1) 東京大学総括プロジェクト機構

全学として推進すべき研究プロジェクトとして、総長直轄の寄付研究部門または研究部門を設け、総括することを目的とした研究組織。

国際デザインスタジオ

最先端の多様な研究・教育に触れ、世界の建築の動向の変化にいち早く反応し、世界の文化多様性の推進に対して建築がどのように貢献できるかを議論・探求する国際的なプラットフォームとして機能することが期待されます。国際デザインスタジオでは、コンピューショナル・デザイン、ポストデジタル、アーバンデザインの各分野で活躍する建築家を世界から招聘し、半学期から1学期の期間にわたりデザインスタジオの指導にあたって頂きます。また、海外大学の建築学部長から国際アドバイザーを任命し、本講座の運営方法への助言を頂く体制を構築致します。

デジタルファブリケーションセンター

「人と自然の共生」をテーマに、デジタルデザインにより、生み出される建築がその中で過ごす人々の人間性豊かな生活にいかに関与できるかを実践的に研究します。これにより、さまざまな社会課題の解決について、より具体的で実装可能性の高い研究成果が生み出されることが期待されます。

本講座により、工学部1号館4階の180㎡の広さをもつスペースにおいて、デジタルファブリケーションの設備を刷新・拡充し、最先端の設備にアクセスできる環境を整備します。

これにより、より先進的なデジタルテクノロジーを用いた建築設計の研究が可能となり、実際の都市環境に恒久的に設置することにより実践的な建築物の制作も視野に入れることが可能となります。

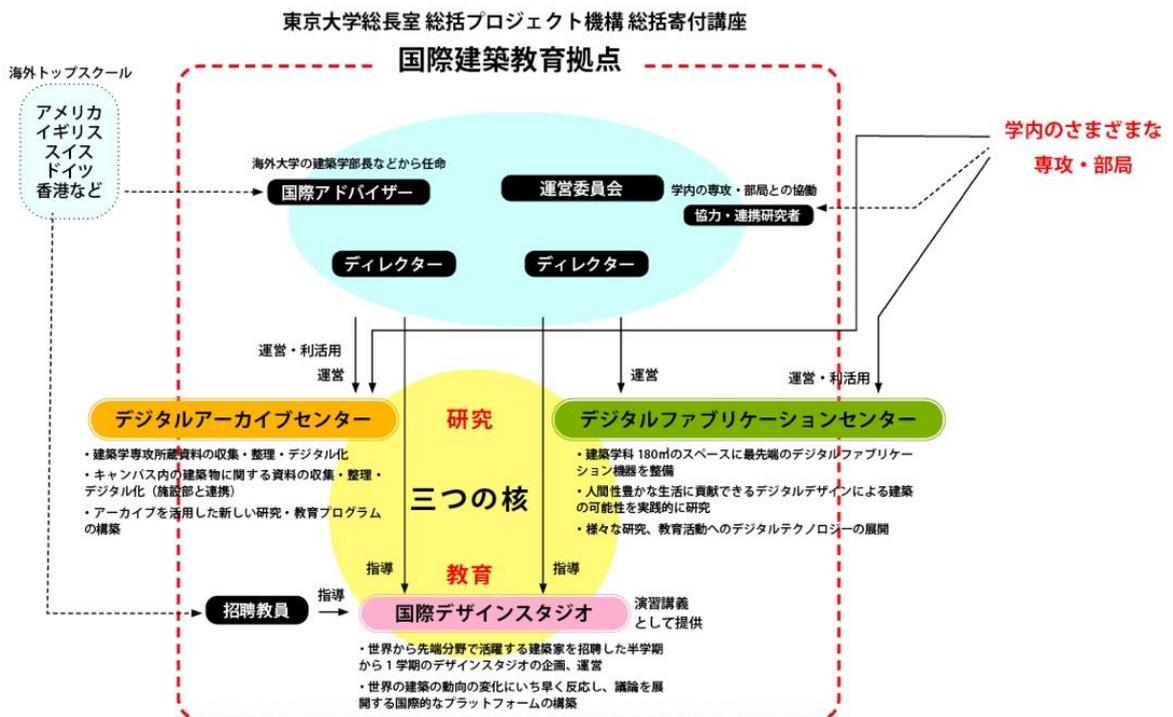
また、機器の増設により、建築学科全体、さらには他部局からも設備にアクセスできる機会を提供することが可能となります。デジタルテクノロジーについてのリテラシーの底上げを図り、より高度な人材を社会に輩出することを目指します。

デジタルアーカイブセンター

建築アーカイブの手法・思想に関する研究および実践により、我が国が世界に誇る建築資料のアーカイブなどを主軸とした研究・教育拠点の構築を目指します。

本講座では、建築学専攻所蔵資料や東京大学施設部との連携によって収集したキャンパス内の建築物に関する資料を中心としたアーカイブ環境の整備を行います。

国内外の研究者にアーカイブへのアクセスを提供することにより、国際的な建築史研究・教育ネットワークの構築への貢献が期待できます。アーカイブ環境の充実によって、持続可能で豊かな都市環境を生み出すための既存の建築物ストックの活用方法をより実践的に探求する研究・教育プログラムの構築が可能になることが期待されます。



隈研吾（本総括寄付講座運営委員、東京大学特別教授）からのコメント

積水ハウス株式会社様のご支援によって、SEKISUI HOUSE - KUMA LAB を設立する運びとなりました。SEKISUI HOUSE - KUMA LAB は建築分野で国際的な人材を育成するための新しいプラットフォームです。

ここには学内に開かれたデジタルファブリケーションの設備や、建築学科が持つ貴重な資料をデジタル化したアーカイブを整備します。このような環境を活用して、世界の第一線で活躍する建築家が指導する新しい設計スタジオプログラムを提供したり、学内外の研究者が資料にアクセスできるようになります。

さまざまな分野のエキスパートが集まり、未来の住まいのあり方を議論するような場となることを期待しています。



Photo © J.C. Carbonne

仲井嘉浩（積水ハウス株式会社代表取締役社長）からのコメント

「わが家」を世界一 幸せな場所にする、というグローバルビジョンを掲げる当社は、人生 100 年時代の新たな住まいの価値として「健康」「つながり」「学び」にフォーカスし、「住」にまつわる様々なハード・ソフト・サービスの開発にグローバルな視点で取り組んでいます。

今回、国際的な各分野のエキスパートがこの場に集い、住まいについてのイノベーティブな議論の場とグローバルな人的交流が生まれることに大きな期待を寄せるとともに、隈研吾特別教授、東京大学様という素晴らしいパートナーにご賛同を頂いたことを大変嬉しく感じています。今回の共創で「住まいのあり方」を紐解き、その未来のカタチを考える機会を通して、私たちが向かっていくべき新たなフェーズのアイデアが生まれてくることでしょう。この SEKISUI HOUSE - KUMA LAB と当社のコラボレーションで生まれた未来の住まいづくりのヒントを、世界に発信してゆけることを楽しみにしています。



■「国際建築教育拠点（SEKISUI HOUSE - KUMA LAB）」総括寄付講座の概要

【名称】

和文：国際建築教育拠点（SEKISUI HOUSE - KUMA LAB）

英文：International Architectural Education Platform SEKISUI HOUSE – KUMA LAB

【設置期間】

2020年6月1日から2025年5月31日までの5年間

【担当教員】

特任教授（兼務）／東京大学 特別教授 隈研吾

特任教授（兼務）／東京大学大学院工学系研究科 教授 加藤耕一

特任教授（兼務）／東京大学生産技術研究所 教授 今井公太郎

特任准教授（専任）／Seng Kuan

特任講師（専任）／平野利樹

■積水ハウス株式会社について

所在地：大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

上場区分：東証1部、名証1部上場

設立：1960年8月

資本金：2,025億9,120万円

売上高：2兆4,151億円（2020年1月期）

■本件に関するお問い合わせ先

東京大学大学院工学系研究科 広報室

積水ハウス株式会社 広報部
